

200のテーマ解説と、より深く知るための文献案内

「縄文弥生から飛鳥奈良」を知る本



日外アソシエーツ 編 A5・410頁 定価(本体8,500円+税) ISBN978-4-8169-2231-2 2010年2月刊行

日本人の起源、文字や仏教の伝来、国家の成立、アジアとの交流…
謎とロマンに満ちた日本の古代史を知るために

■縄文式土器から邪馬台国、聖徳太子を経て平城京の時代までを取り上げ、わかりやすいテーマ解説と関連文献リストで古代史を多角的に知ることができるブックガイドです。

■時代別に、人物・社会・文化を知るための200項目を設け、解説とより深く学ぶための関連文献(7,000件収録)情報を掲載しました。

■人名や事件名などから引ける「事項名索引」付き。

研究の基礎資料
レポート作成、調べ学習に…

■項目例■

- 先土器時代
岩宿遺跡、打製石器、明石原人(明石人骨)、港川人…
 - 縄文時代
縄文土器、磨製石器、骨角器、竪穴住居、貝塚、屈葬、土偶…
 - 弥生時代
弥生土器、銅剣・銅戈・銅鐸、鉄器、唐古遺跡、吉野ヶ里遺跡、方形周溝墓、秦浪郡、漢委奴国王印、邪馬台国、卑弥呼、「魏志」倭人伝…
 - 古墳時代
大和王権、地方王権、天皇、古墳、前方後円墳、高松塚古墳、竪穴式石室・横穴式石室、古代朝鮮外交、倭の五王、「宋書」倭国伝、漢字の伝来、仏教の伝来、記紀神話、氏姓制度、国造制・部民制、熊襲…
 - 飛鳥時代
継体天皇、豪族、聖徳太子、冠位十二階・十七条憲法、遣隋使・遣唐使、大化の改新、天智天皇、藤原鎌足、白村江の戦い、壬申の乱、飛鳥浄御原律令、文武天皇、律令、班田収授法、木簡、飛鳥文化、法隆寺、伽藍配置、鞍作止利、白鳳文化、柿本人麻呂、大官大寺…
 - 奈良時代
平城京、和同開珎、壺田永年私財法、三世一身法、藤原不比等、長屋王、大仏開眼、行基、長岡京、天平文化、興福寺、鑑真、唐招提寺、正倉院、乾漆像、大学寮・国学、古事記、「帝紀」「旧辞」、舎人親王、日本書紀、風土記、懷風藻、大津皇子、上代歌謠、万葉集、山上憶良、大伴家持、万葉仮名…
- …など200項目

2020.6

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <http://www.nichigai.co.jp/>

■書店名	注文書	「縄文弥生から飛鳥奈良」を知る本 定価(本体8,500円+税) ISBN978-4-8169-2231-2	冊
		■お名前	

聖徳太子

しょうとくたいし

敏達3年(574年)～推古30年2月22日(622年4月8日)

飛鳥時代の皇族・政治家。聖徳太子は諡号で、諱は厩戸皇子。別名は豊聡耳皇子、上宮太子、法大王、上宮聖王など。用明天皇の皇子で、母は皇后穴穗部間人皇女。推古天皇の甥に当たる。用明2年(587年)に蘇我馬子の軍に加わって物部守屋を討ったが、その歳に四天王に祈念して勝利を得たので、後に四天王寺を建立したという。推古元年(593年)に推古の即位に伴い皇太子となり、摂政として大臣馬子と共に政務を執った。推古11年(603年)に冠位十二階を推古12年(604年)に十七条憲法を制定するなど国内の制度を整えると共に、推古15年(607年)に小野妹子を遣隋使として派遣して隋との国を開くなど、留学生や留学僧による大陸文化導入にも大きな役割を果たした。また、推古元年(620年)に史書「天皇記」「国記」を編んでいる。これらの政策により中央集権的官国家の基礎を築く一方、深く仏教に帰依し、「経義疏」を著した他、前述の四天王寺や自ら住居である斑鳩宮の西方に位置する法隆寺をはじめ中宮寺・橘寺・広隆寺・法起寺・妙安寺7寺を建立するなど、仏教の興隆に尽くした死後は河内の磯長の墓地に葬られたが、そのは大阪府南河内郡太子町の叡福寺境内に現存し福寺北古墳と呼ばれる。その生涯は早くから説話され、聖徳太子信仰が広く普及、「聖徳太子伝暦」をはじめ数多くの伝記・絵伝が作られた。なお、聖徳太子には山背大兄王をはじめ多くの子女があり上宮王家と呼ばれるが、皇極元年(643年)に蘇我入鹿に滅ぼされた。

* * *

◇天孫降臨の夢—藤原不比等のプロジェクト 大山誠一著 日本放送出版協
2009.11 294p 19cm NHKブック
1160円 ①978-4-14-091146-4

◇日本仏教史入門—基礎史料で読む

わかりやすい
テーマ解説

関連文献リスト

折哲雄, 大角修編著 角川学芸出版, 角川グループパブリッシング [発売]
2009.11 398p 19cm 角川選書 2000円 ①978-4-04-703453-2

◇秦氏の秘教—シルクロードから来た謎の渡来人 菅田正昭著 学研パブリッシング, 学研マーケティング [発売]

2009.11 287p 19cm ムー・スーパーミステリー・ブックス 2300円 ①978-4-05-404354-1

◇聖徳太子の運命学—日本国家創建の理念と魂のメッセージ 北条路山著 広島 溪水社・汎書部 2009.5 362p

邪馬台国

やまたいこく

2世紀後半から3世紀にかけて日本に存在した国。『三国志』の魏志倭人伝に記載される。もと男王が治めていたが、2世紀後半の倭の大乱で女王卑弥呼が共立され、少なくとも北九州を含む20ヵ国を支配。239年(景初3)卑弥呼は大夫難升米(なしめ)らを魏の都洛陽に派遣し、生口と斑布(はんぷ)を献上している。魏の明帝は卑弥呼を「親魏倭王」に任命し、金印紫綬、銅鏡などを下賜した。243年(正始4)には大夫伊声耜(いせいき)らを派遣し、247年には、狗奴国との対立のなかで載斯烏越(さしうえつ)を帯方郡に派遣し、戦況を報告させている。その結果、中国皇帝の詔書・黄幢(こうどう)(軍旗)の賜を受けている。卑弥呼の死後、男王が立ったが治まらず、娘の臺與(とよ)が立てようやく治まった。その臺與を女王とする倭国がその後どうなったかは、266年の遣使以後まったく不明である。所在地に関しては、北部九州説と畿内大和説の2説の他、多数の説が提唱されている。「『魏志』倭人伝」には帯方郡から邪馬台国への行程記事があるが、その行程をとると九州のはるか南方の海上に邪馬台国があるという矛盾が起きるなど、未だ確定的な論拠はない。

* * *

◇魏志倭人伝の考古学—邪馬台国への道 西谷正著 学生社 2009.4 379p 22cm 5400円 ①978-4-311-30072-1

◇邪馬台国魏使が歩いた道 丸山雍成著 吉川弘文館 2009.4 251p 19cm <歴史文化ライブラリー 268> 1800円

①978-4-642-05668-7

◇邪馬台国吉備説—神話篇 広島輝治著 神無書房 2009.1 532p 20cm 4700円 ①978-4-87358-096-8

◇邪馬台国大研究 井上筑前著 福岡 梓書院 2009.1 429p 21cm 2667円 ①978-4-87035-331-2

◇邪馬台国問題への解決 第1巻 弥生時代～古墳時代の金属器の概観 石井好, 永井康寛著 柏葉書房 2009 280p 30cm

◇まぼろしの邪馬台国 第1部 白い杖の視点 宮崎康平[著] 新装版 講談社 2008.8 277p 15cm <講談社文庫> 590円 ①978-4-06-276135-2

◇まぼろしの邪馬台国 第2部 伊都から邪馬台への道 宮崎康平[著] 新装版 講談社 2008.8 371p 15cm <講談社文庫> 629円 ①978-4-06-276136-9

◇三輪山と卑弥呼・神武天皇 笠井敏光, 金関恕, 千田稔, 塚口義信, 前田晴人, 和田萃著 学生社 2008.8 194p 20cm 1980円 ①978-4-311-20320-6

◇沈黙する女王の鏡 関裕二著 ポプラ社 2008.7 222p 19cm <関裕二<古代史の謎>コレクション 1> 1300円 ①978-4-591-10432-3

◇日本史の誕生 岡田英弘著 筑摩書房 2008.6 349p 15cm <ちくま文庫> 800円 ①978-4-480-42449-5

◇邪馬台国と地域王国 門脇禎二著 吉川弘文館 2008.6 327p 20cm 2800円 ①978-4-642-07989-1

◇「邪馬台国畿内説」徹底批判—その学

好評既刊

「鎌倉・南北朝・室町」を知る本

A5・410頁 定価(本体7,600円+税) ISBN978-4-8169-2198-8 2009.8刊

読書案内 「戦国」を知る本

①武将—下剋上の世を生きた人物群像

A5・400頁 定価(本体7,600円+税) ISBN978-4-8169-2130-8 2008.9刊

②戦乱—天下太平までの合戦・事件

A5・420頁 定価(本体7,600円+税) ISBN978-4-8169-2131-5 2008.10刊

③文化—戦の世に花開いた芸術・文学

A5・410頁 定価(本体7,600円+税) ISBN978-4-8169-2132-2 2008.11刊

読書案内 大江戸を知る本 小林克(監修)

A5・360頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-8169-1619-9 2000.7刊

読書案内 「明治」を知る本

A5・400頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-8169-1597-0 2000.3刊

読書案内 「昭和」を知る本

①政治—軍国主義から敗戦、そして戦後民主主義へ

A5・380頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-8169-1999-2 2006.9刊

②社会—金融恐慌・闇市から高度成長・バブル経済へ

A5・390頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-8169-2000-4 2006.10刊

③文化—昭和を彩った科学・芸術・文学・風俗

A5・400頁 定価(本体6,800円+税) ISBN978-4-8169-2001-1 2006.11刊